



外遊びやお散歩が心地よい季節になりました。子どもたちはこの1年で、見ちがえるほど大きく、たくましくなりました。  
これからもそれぞれのペースで成長していく姿を見守っていききたいと思います。

## これで安心! けがのケア

外遊びが増えてくる春は、子どもたちの生傷が絶えない季節でもあります。  
化膿して傷口が目立ってしまうことがないように、適切な処置を行いましょう。

- ① 傷口に入った砂などの異物を、水道水でしっかり洗い流しましょう。  
\* 異物が残ってしまうと、化膿して傷痕が残ります。
- ② 石鹸をよく泡立てて傷口を洗い、最後に流水でしっかり泡を落とします。
- ③ 出血があれば、清潔なガーゼ等で圧迫止血を行います。
- ④ ガーゼ、または絆創膏に傷薬を厚めにのばして貼り付けます。
- ⑤ ガーゼは毎日交換しましょう。  
(ガーゼがはがれにくい場合は、水で濡らすとはがれやすくなります)  
交換の際には傷の状態をよく観察し、洗浄した後、再度保護をしましょう。

## 消毒はしないの?

消毒薬は、傷を治すために再生しようとしている細胞を壊してしまうため、傷の治りを長引かせてしまいます。  
流水での洗浄が基本です。



## カサフタを作らずに傷を治す湿潤療法ってなに?

ケガをすると、傷口から血や体液が出てきますが、実はこの体液には、傷を治す因子が含まれています。この体液で覆われた環境を維持することで、表皮の再生が促進され、痛みを抑えつつ、傷が早くきれいに治ります。

### ハイドロコロイド材の絆創膏

- ・キズパワーパッド
- ・キズクイック
- ・ケアリーヴ など



\*ハイドロコロイド材の絆創膏は、2歳以下の子どもには使えません。使用上の注意を守って使いましょう

## 湿潤療法

湿潤療法は浅い傷に適しています。  
深い傷や、動物に引っかかれたり、噛まれた傷は感染の可能性が高いため使用できません。

- ① 傷口を水道水でしっかり洗います(石鹸がある場合は使用)
- ② 薬は付けずに、傷よりも大きなサイズの湿潤療法用絆創膏(ハイドロコロイド材)で覆います。

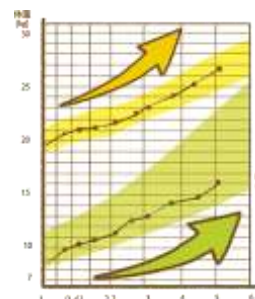
絆創膏から漏れるほど体液が多い場合は、細菌が繁殖し化膿することがあるため、通常の処置を行いましょう。

- ③ 2~3日は毎日、その後は2~3日に1回交換しましょう。

- \* 交換する時は、傷口を必ず洗ってから、新しいものを貼ってください。
- \* 皮膚トラブルの多い夏場は、毎日の交換をお勧めします。
- \* 痛みや赤みがひどくなる時は、早めに受診しましょう。

## お子さんの成長「見える化」しましょう

園では毎月、子どもたちの身長と体重を計測しています。ぜひ、母子健康手帳などの身体発達曲線(成長曲線)に記入して、成長を「見える化」しましょう。



### グラフのカーブが大事

少し小さめでも、成長曲線のカーブに沿って育っているなら問題ありません。数字だけ見るのではなく、長い目で成長を見守りましょう。

## 先月の子どもの様子

発熱・突発性発疹

の発症がありました